

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 142 号

2015年 6月25日発行

発行責任者：横井 正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

年 3 回発行

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1) 「ソウルフレンドシップフェア2015」…参加報告
- (2) 『記念公演』に寄せて
- (3) 一般公演の取組みから
- (4) 今年の公演計画(予定含む)



ハノイとテヘランの方々と、即興で演奏交流

北海道庁・知事室国際課からの派遣要請を受けて、韓国ソウル特別市が開催する国際フェスティバル「ソウルフレンドシップフェア」に、4月30日から5月4日までの四泊五日、座員6名で参加してきました。創立50周年の記念年に、北海道の代表公演団として参加できたことを誇りに感じています。とりわけ今年は、「日韓外交正常化50年」という節目の年でもあり、現在の日韓の政治的関係からみて、文化交流を通じ友好信頼の醸成を図ろうと市民レベルで交流する催しの大切さを、肌で実感できた旅となりました。

ソウル特別市主催(招聘)による、「国際フェスティバル」
「ソウルフレンドシップフェア」に参加出演!!

『記念事業』第一弾として実施した「ソウル特別市公演」:
お力添え下さいました皆さまに、心より感謝申し上げます。
限られた紙面での報告ですが、楽しく有意義な交流の様子をお伝えします。

《4月30日(木)》

JAL 093便。道庁職員の高田恵美さんと私たちを乗せた機体は、もうソウル上空にさしかかっていた。窓の外に高層の建物群が見えてきた。別世界の光景だ。だんだんハッキリと眼下に広がる高層ビル、ビル、そしてまたビル。何処までも広がって見えた。ソウル市の街並みのすごさ! 韓国・ソウル特別市とは、こんなにも大都市だったのか。空港では、市担当者通訳ガイドの二人の女性の出迎えを受けた。その後、私たち専用のチャーターバスで市内中心部へ移動。交通量が多く、かなりの渋滞。夕食会場へと直行することに。ホテル到着は、夜9時過ぎ。客室は、22階で最上階部分。こうして、韓国入国の一日目が終わった。

《5月1日(金)》

この日は、催しのオリエンテーションが朝9時30分から市庁舎で行われた。説明がイングリッシュ中心で、さすが

に通訳ガイドも困惑気味。催しの概要を十分に理解するまでに至らず残念だった。その後は、目映い陽射しがソウル市内を包み込み新緑の優しさが街中に溢れる中心街を、終日の観光となった。

《5月2日(土)》
朝9時からの舞台リハ。野外特設ステージだけに音響機器はものすごい!マイクの数も半端ではなかった。日中、会場脇の王宮跡(徳寿宮)での王宮守門将交代儀式を見学できた。王宮門の開閉や警備を担当する守門軍の交代儀式を専門家による歴史考証を通じて再現したもので、威厳があつてすこぶる感動的だった。



メインステージでの演奏風景

午後からは、演奏パレード。沿道の観客たちの頭を獅子で噛んで歩き、交流しながら進む。途中、イランの演奏に即興で笛と太鼓を合わせる。ベトナムの女性たちが踊り出す。瞬時に気持ちを通い合ひ、満ち足りた楽しい時間となる。夕方5時、開会式。冒頭、ネパール地震の犠牲者へ黙祷を捧げた。開会の挨拶は、朴元淳(パク・ウォンスン)ソウル特別市長。式典セレモニー後、各国の公演団のパフォーマンスへと続く。私たちは、夜8時からの出演。LED照明で彩られた舞台は、とても綺麗な光景だった。その中で最初の演目「江差祭りばやし」が始まった。夜の闇につき、伸びやかな篠笛の音が、爽やかさを伴うほど良い風に乗る響き渡る。太鼓の音も明るくしかしドツンリと響き、綺麗な高音域の鉦が囃子の調子を華麗に演出する。何千人の観客だろ。天然芝の公園には、大勢の人達のざわめきと息遣いがあった。北海道ソウル事務所の前山所長が差し入れを手を駆けつけてくれた。

《5月3日(日)》

雨交じりの天候だったが、野外サブステージでの演奏と市庁舎地下ミニライブ公演。どちらの会場でも市民と直接交流でき、楽しんでもらった。

再訪韓を願って。 (計良徹)

本場に近い隣国であった! 事を感謝したい。ソウルは、開き共存することを喜び合えるーそんな催しに参加できた

人間を惹きつける魅力的な街の思考は、この度のイベントに現れているように、多様性を認め合いそれぞれの「生」を謳歌できる平和な社会構築にこそある。両国間には歴史的にも不幸な事実があり、国家間では解決しにくい難しい課題がある。だからこそ都市間・市民レベルでの信頼関係の構築と醸成が必要なのだ。心を開き共存することを喜び合えるーそんな催しに参加できた



フェアウェルパーティーの様子

創立50周年記念公演せまる!!

四人でつくる楽しい舞台めざし、
熱い想いの汗が流れます…。

記念公演まであと二ヶ月を切り、学校公演の間を縫っての稽古に四苦八苦する毎日が続いています。

はてさて、どうなることやら…まずは演目を紹介いたします。

*「傘踊り」

美唄市峰延地区に伝わる

「峰延東傘踊り」を基に構成。

三年前の夏祭りに伺ったのが縁で、保存会の方から踊りを教えて頂きました。

峰延東傘踊りは大正時代の始め鳥取県からの入植者が伝えたもので、「因幡の傘踊り」を基にした民俗芸能です。

遠い故郷を偲び、祭り事にはお祝いの踊りを、お盆には初盆の家をまわり供養の踊りを、干ばつの時には雨乞いの踊りと受け継がれ、地元住民の心より所となつて郷土芸能へと育てられてきました。入植から五代目となる小学生のお孫さんを含め、家族ぐるみで活動に励む保存会の皆さんの芸能への想いを胸に、華やかに鈴音を響かせ踊ります。三番叟・貝殻節・きなんせ節を構成しました。

*神楽曲「楽」―松前神楽より

道南の祭りで神社に行けば、必ずと言っていいほど奉納されている「松前神楽」。

太鼓・龍笛・手平鉦の独特な楽曲にのって優雅に激しく舞われる神楽に魅せられ、函館市恵山地区の尻岸内八幡神社の荒木力弥宮司を訪ね、稽古を付けて頂いています。

城内神楽として、三百年前に始まったとされる「松前神楽」は、神職自らが神楽を舞い奏でる伝統が現在も厳格に守られていることが特色となつていきます。

尻岸内八幡神社例大祭では神職の方々の舞と共に、荒木宮司から指導を受けた地元の中学生や小学生が幾つかの演目を舞い踊ります。その活き活きとした姿、真剣な眼差しに胸が熱くなり、応援に駆けつけた家族や地域の皆さんの眼差しも温かく「おらが神楽…！」の喜びと誇りが伝わってきました。

こぶし座では、三番叟・獅子舞・四箇散米舞の三曲を構成し「楽」を演奏します。

*民謡「道南口説節」

元唄は越後の瞽女さんから伝えられた物語風の口説き節と言われています。目の自由な瞽女さん達が函館を拠点に道南一円を門付けし、行く先々で見聞きた事柄や地名を取り入れ唄ってきたものが各地に残されていて、古老たちが「下のくどき節」（下海岸地方）と呼びそれぞれ独自に唄われていました。

昭和二十八年頃、函館在住の民謡歌手・佐々木晴氏が各地を発掘調査し、まとめたものが「道南口説節」です。

門付けをする瞽女さん達が伝えた哀愁を帯びた口説き節が、独特な節廻しと軽快なリズムとなり人々に愛され唄い継がれてきました。

私たちの民謡の師匠である基晴会の三浦一子先生は、こぶし座の十五周年記念公演の時に祝賀演奏として「江差追分」を唄って下さった方で、三年程前から指導を受け、座の松岡が教室に通い稽古を積んできました。

こぶし座が誕生して間もない頃、浦河町に住むアイヌの婦人、今は亡き鷺谷サトさんからの一通の手紙が基になり、アイヌの方々との関係が

生まれました。各地の保存会の方々から、歌や踊りトンコリなどを教えて頂き「アイヌ・ネノ・アン・アイヌ」人間らしい人間として生きることの大切さを教えられ、交流を深めてきました。

ウポポやホリツパ、トンコリの演奏とともに、暮らしの智慧としてそれぞれの家庭に伝承されてきた「ウパシクマ」―祖先からの言い伝え―の中から「薬草の話」をお伝えします。

「こぶし座と言えは繁次郎だよね…」と愛されてきた、懐かしの繁次郎も舞台に登場させたいと汗を流しています。

「こぶし座と言えは繁次郎だよね…」と愛されてきた、懐かしの繁次郎も舞台に登場させたいと汗を流しています。

「こぶし座と言えは繁次郎だよね…」と愛されてきた、懐かしの繁次郎も舞台に登場させたいと汗を流しています。

こぶし座が誕生して間もない頃、浦河町に住むアイヌの婦人、今は亡き鷺谷サトさんからの一通の手紙が基になり、アイヌの方々との関係が

*仮面劇

「江差の繁次郎」

「見っさいな 見っさいな 江差の五月はニシンどき」

「ニシンがきたぞおー」

どつと駆け出す人の群れ 浜は真つ黒 大景気

「こぶし座らしい五十年の舞台とは：想いを巡らしながらも行き着く所は、『今ある力でどうやって舞台を成立させるのか』」

この現実が、実はこぶし座らしい舞台のようです。

みなさんへの感謝の気持ちを込めて、心温まる楽しい舞台をお届けしたいと思います。

【創演部 計良 正子】



私も舞うよ～
来てねッ!

＝ 平成27年度 函館市文化奨励事業 ＝ 創立50周年記念公演

《演目》

- ・仮面劇「江差の繁次郎」
- ・傘踊り
- ・神楽曲『楽』-松前神楽より-
- ・民謡『道南口説節』
- ・寿獅子
- ・アイヌの歌や踊り「トンコリ演奏」「ウポポ」ほか
- ・『おはなし』～浜の母つちやは、津軽の嫁こ～

―友情出演―

学童保育所わんぱく・ぼうけんクラブ
太鼓で遊ぶ会
陣川あさひ町会子ども太鼓教室

日時：8月22日(土)夜6時30分 開演
会場：函館市芸術ホール

…【創立50周年祝賀会】2015年12月に計画中心！…



一般公演の取組みから

今年3月に行った一般公演から、

鉦路市と砂川市の取組みを紹介します。

鉦路は、二日間にわたっての公演。砂川は、ホールを運営するNPOが主催事業として実施したものと、共に特徴的な公演となりました。

鉦路に

こぶし座を迎えて

実行委員・小棚木幸子

「会場探しに困ってるんだけど」の連絡から始まったこぶし座の取り組みでした。

鉦路文化会館小ホールは使料が高すぎる。芸術館はどうかと決めたが、後ほど「袖がない」ので不適當の烙印。あとは、鉦路町コミセンと早い早速会館確保に向くが、更に別役会場まで行く事となった。教育委員会の後援で半額、更に鉦路町住民が実行委員長であると半額と聞き、役員会に事情説明し、共催の「鉦路かんげき会」所属の村越節子さんをお願いしてのスタートとなった。

FMくしろの放送では、村越小棚木コンビでこぶし座の歴史と文化の大切さを訴える。画期的なのは、実行委員メンバーにどんぐり保育園の若者保育士が加わった事です。それで伊藤、雪田のコンビは、

を観たさに来てくれてよかったです。そして、帰りの笑顔に私達実行委員は感動しこぶし座さんに感謝致します。有難う御座いました。お身体大切に全道くまなく活動を。



【会場入口に飾られた横断幕を手に】
3月4、5日の二日間公演を終えて…

「折角集まるのだから、いい事を一つでも二つでも得る事しよう!!」を合言葉に会議後に太鼓伝授と成った。そして、太鼓を覚えたいと10名位の参加となり、保育園では、「こぶし座ニュース」としてお知らせする事で券売りの一つと

しているのです。事務局はこのニュースも全体の「こぶし座ニュース」に盛り込み(伊藤事務局長のきれいな字体で)第3回発行し、動きの見える通信と成りました。

鉦路町コミセンは、会場は満点で駐車場は難点でした。お向かいの会社に交渉して駐車場を確保する。当日は、コミセンの担当者が上手に車の整理をしてくれた事に感謝でした。

初日は、夕方始まりなので子ども達も来てくれました。二日目は、日中なので、子どもは来ません。実行委員長は「曜日が悪い」とブツブツ呟いていましたが、雪が多く足元が悪い3月なのに、180人近くのお客様はこぶし座の歌舞

砂川で、こぶし座公演を手伝って…

工藤 英博

例年より降雪が少ない中、5年ぶりの「こぶし座」砂川公演が、3月15日(日)に「NPO法人ゆう」の主催事業として、JR砂川駅に隣接する砂川市地域交流センター「ゆう」で開催されました。

今回の公演が決定した後、学校の先輩である横井さんから「地元の砂川で公演するので準備を手伝ってほしい」との連絡を受けました。前回の時は公演当日が不在だ

ったこともあり、お手伝いが出来なかつたので、今回はその罪滅ぼしの意味もありお手伝いをさせていただくことにしました。年末年始を挟んでの活動となり忙しい中での準備となりましたが、前回実施した時の関係者や会社の同僚・友人などが実行委員としてチケットの販売に協力をしていただきました。

*

公演当日は心配した天候も全く問題がなく、公演の1時間以上前には当日券を求めて受付にお客さんが来るなど、好調な出足で観客が来場してくれました。前売り券が販売目標数に届かず心配していましたが、当日券購入のお客様も含めて公演開始時には客席の8割以上が埋まり一安心でした。

演目の一つひとつに大きな拍手が送られ、観客との交流ではステージ上との掛け合いで大いに盛り上がりました。終了後には多くの皆さんから「楽しかったよ」と声をかけられました。終了後は、実行委員のお店で交流会を行い、こぶし座の皆さんともいろいろと話をさせていただきました。最後は時間を過ぎました。最後になりませんが、これからの「こぶし座」のますますのご活躍を祈念して筆をおきます。

『追悼』三浦先生のこと

私たち座員の人生の師であり、座活動の大切な指導者の一人であった、三浦恒雄氏が亡くなられた。三浦氏が暮らし働いた檜山―江差の地に生活の場をもつ座員・中尾雄児が、追悼の想いを綴った。

三浦恒雄先生を偲んで

三月十四日 永眠

三浦恒雄さんは、檜山の教員時代には第一線でこぶし座公演を取り組まれ、函館ではこぶし座後援会二代目会長として、こぶし座を支え続けてくれました。

私が三浦さんにお会いしたのは座創立十周年記念江差公演で、入座を大変喜んでくれたのを覚えています。十周年を機にこぶし座は、地元檜山により深く根付こうとしていました。それで、普及部の寿子さん(座創立メンバー)と私は、本部のある上ノ国町で公演を取り組み始めました。手本は三浦さんの乙部町公演の取り組みで、私は何よりも大切な「信頼され共感しあう関係づくり」と学べたおかげで、全集落をまわる公演を体験できました。

その後、一緒に、こぶし座の周年記念公演や地域公演を取り組みました。その度に、伝統芸能とこぶし座へ寄せる熱い気持ちを感じたので、なぜかと聞いてみたところ、三浦さんは次のような事を話してくれました。

「初任は檜山の漁村の小学校。そこでこぶし座公演があり、喜ぶ子どもや親の姿が焼きついた。ソーラン節を教えると、子ども達が生き生きと踊り、学習発表会では親たちが何よりも喜んでくれた。それで、伝統芸能に関心を持つようになり、こぶし座を応援するようになった。」

三浦さんは、檜山音楽鑑賞協会を設立し、日本フィル江差公演を二回も成功させるなど、地元での音楽活動にも情熱的でした。一緒に行動し、子どもや地域教育のことなどを聞いているうちに、草の根文化活動を考えるようになって、私の中にこぶし座を全道に広げる意欲が湧き今に至っています。永い間、お世話になりました。有難うございました。合掌。

第17回「通常総会」開かれる。

創立50周年を迎えるの総会…。
記念公演や韓国・ソウル特別市での公演など、
慌ただしくも意義ある充実の一年間に!!

さる、四月二十五日(土)
「第十七回通常総会」が行われ
ました。社員総数十七名、
出席数十三名。横井理事長の
挨拶の後、開会となりました。

*

第一号議案「二〇一四年度
事業報告」では、振興局を始
め各自治体での助成事業で実
施した一般公演など、百十二
回(二二、二五八人の公演・
講座を行ったことや、函館市
アウトリーチ事業での講師活
動や特別事業としての東北・
「寄磯浜、野田村被災地公演」
の事などが報告されました。



創立50周年…一同、頑張ります!

動継続をはかってきたことが
報告されました。

続いて金城監事より「監査
報告」が行われました。

第三号議案「二〇一五年度
事業計画」では、創立50周年
記念公演を8月22日(土)夜に
芸術ホールで実施することを

正式に決定し、大きな方針に
掲げました。更に、その前段
の第一弾として「ソウル・フ
レンドシップフェア」参加を
確認。また、「祝賀会」の12月
開催計画案については、座の
日程を十分に検討して実施す
る事となりました。

第四号議案「二〇一五年度
収支予算」では、創立50周年
に相応しい運動を展開させる
必要性が提案されました。

以上、全議案が承認され審
議を終わりました。

* * *

なお、統一地方選(後半戦)
投票日や、韓国・ソウル特別
市の公演準備の日程等から、
恒例の開催日を早めて行われ
た総会でした。

また、総会冒頭に、出席者
全員で故三浦恒雄氏へ黙祷を
捧げました。

【今年の公演計画】(6月以降～実施分、予定含む)

《一般公演》

- 6/12 (金) 士幌町
- 14 (日) 根室市
- 16 (火) 別海町
- 17 (水) 標津町
- 20 (土) 幕別町忠類
- 以上、実施済み。
- 11/9 (月) 増毛町(予定)
- 10 (火) 留萌市(予定)
- 12 (水) 稚内市(予定)
- 20 (金) 黒松内町
- 12/1 (火) 中標津町(予定)

《特別公演》

- 6/5 (金) 浦河町
連合北海道日高地区連合会
「戦後70周年平和プロジェクト」
- 8/22 (土) 函館市
「創立50周年記念公演」
(函館市文化奨励事業)
- 9/24 (木) 北見市
「ことぶき大学」



《学校公演》

- 6/29 (月) 網走市・網走小学校
- 30 (火) 網走市・西が丘小学校
- 7/1 (水) 網走市・中央小学校
- 2 (木) 網走市・西小学校
- 3 (金) 網走市・南小学校
- 6 (月) 網走市・白鳥台、東小学校
- 7 (火) 網走市・養護、呼人小学校
- 8 (水) 網走市・潮見小学校
- 9 (木) 雄武町・全町の小学校
- 13 (月) 岩手県野田村・全村小中高校
- 16 (木) 蘭越町・全町の小学校(巡回)
- 21 (火) 釧路市・桜が丘小学校
- 8/25 (火) むかわ町穂別地区の全小学校
- 26 (水) むかわ町むかわ地区の中学校
- 9/1 (火) 滝川市・滝川第二小学校
- 2 (水) 芦別市・芦別小学校
- 3 (木) 芦別市・上芦別小学校
- 7 (月) 北見市・中央小学校
- 8 (火) 旭川市・北鎮小学校
- 10 (木) 江別市・いずみ野小学校
- 14 (月) 洞爺湖町・虻田小学校
- 15 (火) 函館市・鍛神小学校
- 26 (土) 登別市・青葉小学校
- 29 (火) 帯広市・柏小学校
- 10/1 (木) 札幌市・中央小学校

《幼稚園・保育園公演》

- 9/28 (月) 札幌市・白楊幼稚園
- 10/5 (月) 帯広市・あじさい保育園
- 6 (火) 帯広市・さくら保育園
こでまり保育園
- 7 (水) 帯広市・みのり保育園
森の子保育園
- 9 (金) 函館市・人見保育園
- 13 (火) ニセコ町・幼児センター
- 14 (水) 札幌市・栄町あおぞら保育園
- 札幌市・白石うさこ保育園
- 札幌市・菊水上町保育園
- 11/14 (土) 美深町・幼児センター
- 1/12 (火) 函館市・青い鳥保育園
- 13 (水) 函館市・つくしの子保育園
- 14 (木) 七飯町・七飯ほんちょう保
- 15 (金) 函館市・つぐみ保育園
- 2/5 (金) 八雲町・国の子保育園
- 8 (月) 札幌市・柏葉保育園
- 札幌市・風の子保育園
- 9 (火) 札幌市・はこぶね保育園
- 10 (水) 札幌市・しせいかん保育園
- 札幌市・くまの子保育園
- 12 (金) 札幌市・川沿保育園
- 15 (月) 帯広市・おひさま保育園
- 音更町・宝来保育園
- 16 (火) 音更町・木野保育園
- 音更町・鈴蘭保育園
- 18 (木) 札幌市・桑園保所

伝言板

《お知らせ》

この度の、韓国・ソウル特別市で開催された「ソウルフレンドシップフェア」(国際フェスティバル)でのこぶし座の公演の様子が、北海道新聞(5月4日付)1面と23面にソウル支局発の記事として載っています。ご覧下さい。

《報告》

6月9日(火)夜6時30分
「創立50周年記念公演」の
第1回実行委員会が、芸術ホール会議室で開かれました。
役員体制ほかを決定。
・実行委員長 馬場雅
・事務局長 梶原康男
・事務局員 西東英範
橋本かおり
横井ひとみ

《編集後記》

近年、異常気象が続き過ぎ被害のほどが気にかかる。
人間も自然界の生き物で、その影響を受けた(り)とは思えぬが、この国のトップの異常さも相当に気がかりである。
憲法学者たちのアンケート結果も、やっつはダメと出た!
この異常を止めぬ限り、甚大な被害に見舞われる…。(徹)